

音小だより

おもいやりの心
を持ち
ともに学び合う
えがおの学校

学 校 = 家 庭 = 地 域 を つ な ぐ 架 け 橋

地域に根ざし、仲間と歩む ひとりひとりの学び

校長 江幡 佳代



木々の葉がほんのり色づき始め、秋の訪れを感じる今日この頃。子どもたちの声が響く校庭には、爽やかな風とともに、季節の移ろいを感じられます。稲刈りが進んだ田んぼの風景、澄んだ青空の高さ、少しずつ重ねられる上着…。深川・音江の秋は、五感で味わう豊かな季節です。

音江小学校は、地域とともにある学校です。花卉や米、果物など、豊かな自然と産業に囲まれたこの町で育つ子どもたちには、**ふるさとを誇りに思い未来に生かせる学びを得てほしい**と願っています。地域の方々にお世話になりながら、子どもたちが学ばせていただける場が、音江小にはたくさんあります。9月には、5・6年生が稲刈り体験、4年生が木育授業などたくさんの方にお世話になりながら、地域の自然や産業に触れる学習を行いました。

先日は、4年生が地域の花卉農家の皆様や空知総合振興局の方々のご協力を得て、「花育」の学習に取り組みました。学校に届いたのは、鮮やかな色とりどりの切り花。スターチス、ダリア、鈴バラ、カラー、トルコキキョウ…。この地域で丁寧に育てられた、心の込もった花たちです。子どもたちは、花をアレンジメントにする作業の中で、見えない“つくり手の想い”に触れていました。花に触れることが心を耕すことにつながっているのだと、私たちも改めて感じました。

花育は、美しさを楽しむ学習であると同時に、**地域を知り、地域に感謝し、地域に誇りをもつきっかけ**にもなります。地域の産業の中に、子どもたちが未来を重ねる。毎年、その第一歩を支えてくださっている花卉農家の皆様や関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

学校という場が、地域と子どもをつなぐ場所であってほしい。子どもたちが自分たちの住む場所に誇りを持ち、地域の一員としての自覚を育みながら育ってほしい。そんな願いを込めて、私たちはこれからも「地域とともにある教育」を大切にしていきます。

さて、10月11日（土）、子どもたちにとっての大きな節目となる**学習発表会**を迎えます。学習発表会は、ただの舞台ではありません。日々の学習の積み重ねや、友達と協力し合った経験、自分の考えを表現しようとする勇気…。それら一つひとつの「**学びの軌跡**」が形となって表れる場です。「自分の考えを伝えること」「相手の話を聴くこと」そして「**仲間と一緒にやり遂げる**こと」——どれも、音江小学校が大切にしている“**資質・能力**”の育成と深く結びついています。

“ちゃんと話せるかな”“うまく伝わるかな”…そんな緊張と向き合いながら、それでも伝えたいという思いが、子どもたちの心に芽生えています。

保護者の皆様、地域の皆様のまなざしと拍手が、子どもたちの自信と誇りになります。当日は、ぜひ子どもたちの“**成長の瞬間**”を、温かく見守っていただけますようお願い申し上げます。

後期児童会役員選挙を行いました みんなの力で音江小学校をより良くしていきましょう

9月8日(月)に後期児童会役員の「立会演説会」と投票が行われました。それぞれの立候補者は、音江小学校の全校みんなのために、例えば「全校みんなが仲良くなれるイベントを実施したいです」などの公約を述べ、しっかりと自分の考えを伝えていました。



投票の結果、新たに役員として選ばれた5名は次のとおりです。さっそく、9月24日からは後期の委員会活動が始まっています。各委員会で活動する4～6年生の委員の皆さんの活躍にも期待しています。

◆令和7年度後期児童会役員◆

児童会会長 (6年)
児童会副会長 (6年)
児童会副会長 (5年)
児童会書記 (5年)
児童会書記 (4年)

10月 行事予定



日	曜	給食	行 事
1	水	○	【特別日課】
2	木	○	1年4時間授業、学習発表会係児童打合せ
3	金	○	前期終業式 フッ化物洗口 通学合宿保護者説明会(5年)
4	土		(道の駅イベントのため駐車場貸出)
5	日		(道の駅イベントのため駐車場貸出)
6	月	○	後期始業式
7	火	○	全校朝会(任命式)
8	水	○	学習発表会児童公開日
9	木	○	
10	金	○	学習発表会前日準備 フッ化物洗口
11	土	×	学習発表会一般公開(開演9:00) 配布済の『学習発表会案内』もご確認ください
12	日		
13	月		スポーツの日
14	火		振替休日(学習発表会)
15	水	○	クラブ⑤ いじめアンケート実施
16	木	○	1年4時間授業 北空知小中学校音楽発表会(5・6年)
17	金	○	【特別日課】フッ化物洗口 1年P学年レク
18	土		
19	日		
20	月	○	児童総会
21	火	○	【特別日課】2年5時間授業 放課後教室⑦ 読み聞かせ(1～3年) 教育相談(～30日)
22	水	○	二計測
23	木	○	【1時間短縮日】
24	金	○	フッ化物洗口 ダメダメたばこ教室(5・6年)
25	土		
26	日		
27	月	○	委員会⑧
28	火	○	読み聞かせ(4～6年) オンライン工場見学(5・6年) ◆諸費引き落とし日◆
29	水	○	【特別日課】 全学年5時間授業 視力検査
30	木	○	1年4時間授業 人権教室(1・2年)
31	金	○	フッ化物洗口 前庭遊具使用最終日

深川小と交流(5年) スポーツ交流などで仲間意識を高めました

9月11日(木)、深川小学校5年生との交流を行いました。音江小の5年生が深川小に出かけて行き、深川小の5年生と交流を行いました。当日は、全員で輪になって一人ずつ自己紹介をしたり、仲間づくりゲームやドッジボールをしたりして、ともに楽しい時間を過ごすことができました。来年の修学旅行は両校で合同実施することになっており、これからも両校の子どもたちで親交を深めていく予定です。

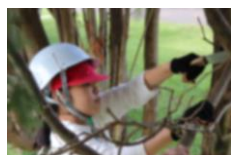
稲刈り体験をしました(5・6年) 稲刈りをしながら実りの秋を実感

9月16日(火)向陽の〇〇さんの圃場にて、5・6年生が稲刈り体験をさせていただきました。5月に田植えをした場所で見事に実った稲を、〇〇さんから刈り方のご指導を受けた後に、一人ずつ鎌を使って作業開始。子どもたちは、刈り取った稲を抱えるようにして運びながら実りの喜びを感じていました。子どもたちが深川の基幹産業とも言える米作りについて知ることは、郷土の魅力を知ることでもあります。ご協力をいただいた〇〇様、農協青年部の皆様、この度もありがとうございました。



育樹・花育を体験(4年) 本校ホールに大きなフォトフレームが完成しました

音江地区花卉生産者の皆様や空知総合振興局のご協力のもと、4年生が9月18日(木)に「育樹」、9月25日(木)に「花育」の学習を行いました。「育樹」では、校地の道路側に植えられている木の枝打ちを行い、木育インストラクターのご指導のもと、枝打ちで出たヒバの葉などを使ったリース作りをしました。「花育」では、〇〇農園で花の収穫・出荷準備を体験し、その後学校でアレンジメントに取り組みしました。



4年生も今回の体験を通して、緑を守る活動や地元産業について学ぶ素晴らしい機会となりました。ご多忙の折、花卉のご提供や子どもたちへのご助言をいただいた皆様、誠にありがとうございました。

入賞おめでとう!

◆税に関する絵はがきコンクール

奨励賞 〇〇 〇〇さん(6)

◆深川市を緑にする会 令和7年度緑化に関する作品

標語部門 優秀賞 〇〇 〇〇さん(6)

ポスター部門

最優秀賞 〇〇 〇〇さん(4)

優秀賞 〇〇 〇〇さん(5) 〇〇 〇〇さん(4)

佳作 〇〇 〇〇さん(6) 〇〇 〇〇さん(5)

〇〇 〇〇さん(4)

今月読み聞かせいただいた本のタイトル

1年:「コウモリのルーファスくん」

2年:「ナムチンカラトラヤヤー」「まさかさかさま」

3年:「だいじょうぶ!だいじょうぶ!」「ひぐまのあき」

「もったいないばあさん」

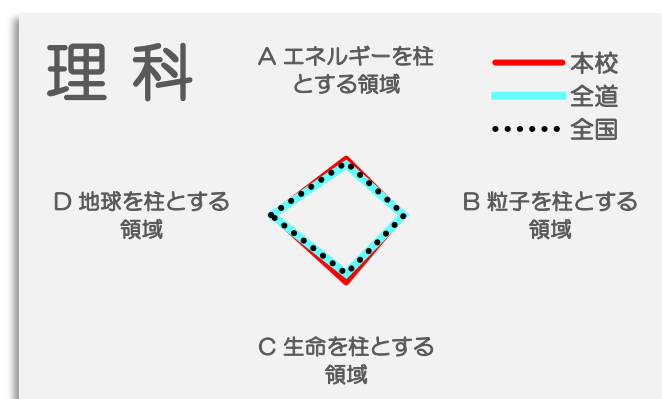
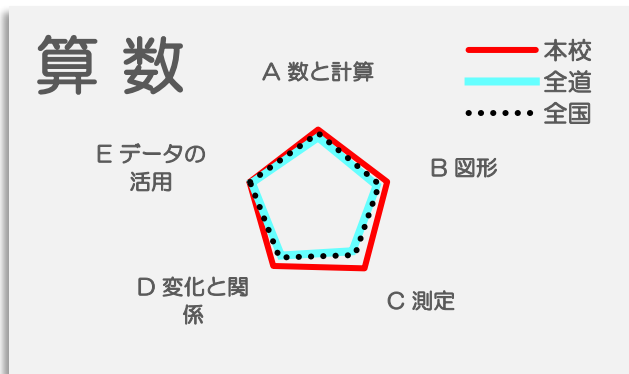
4年:「しまふくろうのみずうみ」

5・6年:「ちきゅう」「MAPS」

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組について

「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準維持の観点から、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、その結果を指導の改善に生かすため、毎年全国の小学校で第6学年児童（中学校は3年生生徒）を対象に実施されています。今年度は、『国語』『算数』『理科』の3教科に関する調査と『生活習慣や学習環境等に関わる質問紙調査』を4月17日（木）に実施しました。学校だよりにおいて本校の状況をお知らせします。（今号では、各教科の調査結果、並びに課題改善に向けた取組を掲載します。）

1. 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果



【国語】

教科の正答率は、全道平均に並んでいるものの、全国平均より、やや下回っています。「(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項」では、書き取りを繰り返し行ったことで、全国平均を大きく上回る高い正答率につながったと考えています。課題としては、「(2)情報の扱い方にに関する事項」と「(3)我が国の言語文化に関する事項」についての力が道内平均よりも低く、「A 話すこと・聞くこと」についても、話し手の考え方と比較しながら、自分の考えをまとめる力を見る設問での正答率が道内平均よりもやや低い結果となりました。

【算数】

教科の正答率は、全ての領域の正答率が、全国平均をやや上回りました。タブレット端末等のICTを活用した意見交流を積み重ねたことで、課題解決への意識や個々の考えが深まり、学年全体として算数の学力が定着している証と捉えています。課題としては、例えば、異分母の分数の和を求めるために、共通する単位分数の幾つ分かを言葉で記述するような設問で、要点を押さえ、筋道の通った説明ができるようになることが課題です。

【理科】

教科の正答率は、ほぼ全ての領域で、全国の平均をやや上回りました。「生命」を柱とする領域では、発芽の条件などについて調べる実験の方法を発想したり、表現したりするなど、実体験が知識・理解の力として定着していることが伺えます。また、無回答が無かったことも、「学びに向かう力」、「自ら課題に取り組む力」、「自分で考える力」が身に付いてきた成果と捉えています。課題としては、水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ設問の正答率が大きく下回るという結果となりました。

2. 今後の具体的な取組について

【国語】 情報の整理・比較・要約の練習を通じて、目的に応じた情報の選び方や伝え方を学ぶ授業を工夫していく。例えば、子ども新聞等の要点をまとめる練習をしたり、インタビュー活動では、目的に応じた質問づくりをしたり、聞いた内容を整理して文章化したりすることで、それらの力を向上させていきます。

【算数】 課題に対する考え方を、具体物や図を使って視覚的に捉えながら、言葉や数字で表現する練習等を積み重ねることで、意味理解と表現力を育てていきます。

【理科】 実験や動画を活用し、例えば水が温度で蒸発する様子を視覚的に体験させることで、状態変化の理解を深めることが必要と考えています。